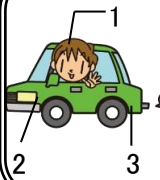


【第1章】 酵素とは？

- ・ 人間、動植物を含めすべての生命体に存在する。
- ・ 酵素は体のあらゆる働き(消化・代謝など)に関わり、不足するといろいろな所に不調が出る。



1. **ドライバー＝酵素**
立派な車があってもガソリンが満タンでも、運転手がいなければ車は動かない。体を動かすカギが酵素。

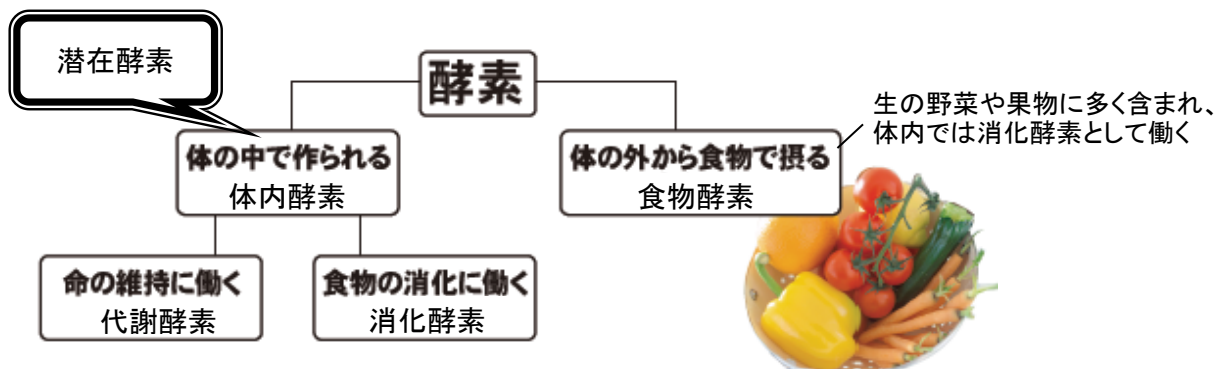
2. **車＝たんぱく質**
たんぱく質は体を作る材料。車に当てはめると、車本体に相当する。

3. **ガソリン＝糖質・脂質**
食べ物としてとった糖質や脂質は、体内でエネルギーになる。いわば体を動かすガソリンのようなもの。

- ・ 自然界に数千種類も存在すると言われ、人の体内だけでも約3000種類の酵素が存在する。
- ・ 一つの酵素は一つの働きしかない。(基質特異性)
- ・ 37～45℃でよく働き、48℃以上で失われる。

【第2章】 酵素の種類

- ・ 酵素は大きく3種類に分けられる。
- ・ もともと体内にある「消化酵素」と「代謝酵素」、そして食物に含まれる「食物酵素」がある。

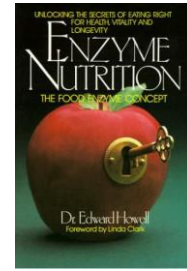


現代人は加工食品を多く摂り、生の食品を摂らない
↓
消化不良を起こす
↓
腸内の悪玉菌を増やし、あらゆる病気の元となる

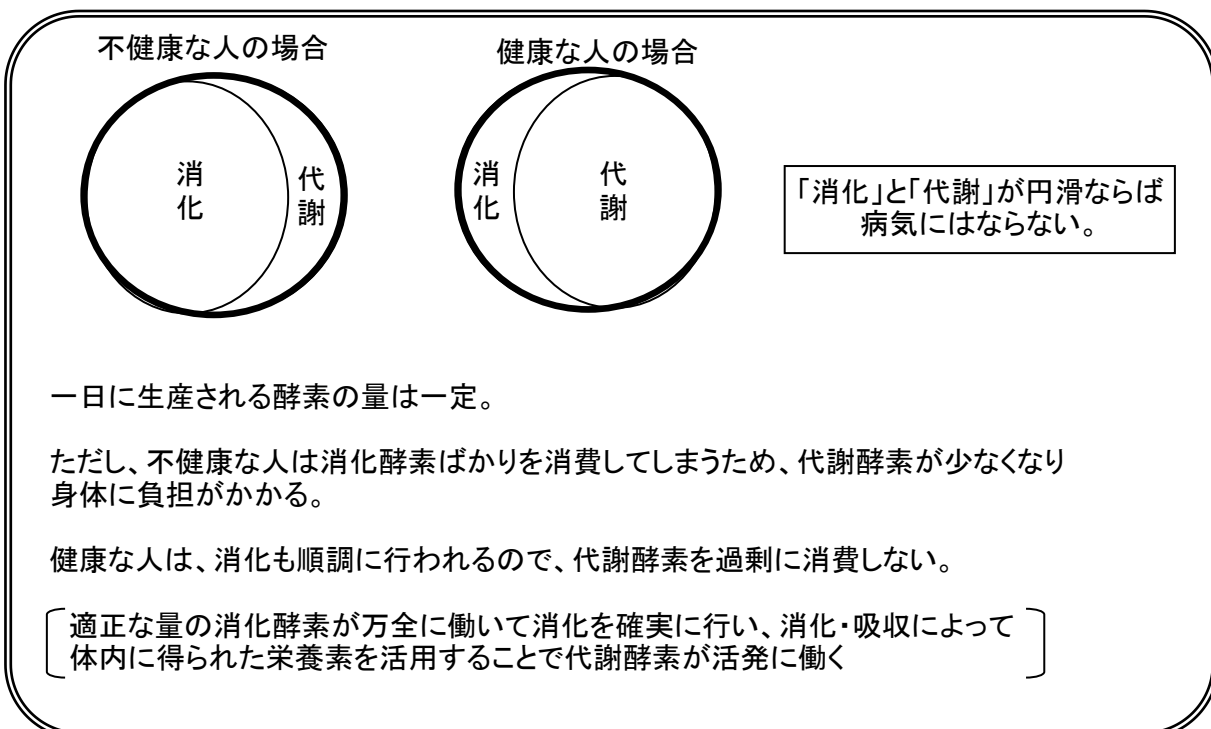
【第3章】 潜在酵素

- ・ 酵素学の第一人者 エドワード・ハウエル博士 1985年「酵素栄養学」

- ①酵素が人の生命活動において何よりも重要である。
- ②人の寿命は体内の酵素によって決定される。
- ③酵素の量は人それぞれに一生の生産量が決まっていて、新たに作り出すことはできない。
- ④「潜在酵素」は「消化酵素」と「代謝酵素」に大別され、常に関連し合っている。
- ⑤加齢と共に酵素の生産量は減少する。



体内の酵素がなくなる時 = 「死」



- ・ 健康で長生きするためにどうすべきか

- ①潜在酵素の無駄遣いを避ける

↑
原因 ・ ストレス
・ たばこ
・ 腸内環境の悪化
・ 食生活 (特に動物性たんぱく質、添加物)
・ アルコールの摂り過ぎ

- ②外部から食物酵素を取り入れる

← 生野菜・果物中心の生活は大変

酵素サプリメントなら手軽に補給できる

【第4章】『X-酵素』

- ・大豆を培地として2つの麹菌を植え付けて作られた原料。

酵素栄養学が確立されたアメリカで、十分な酵素力価を発揮させることを目的に作られている。

- ・特長

①食品原料であること

通常日本では酵素原料は医薬品となるため、そのままでは販売できない。

X-酵素は食品原料から作られているので、体内に取り入れられた麹菌が発酵を開始して初めて酵素活性を示す原料である。

②酸性環境でもアルカリ環境でも働くように、2種類の麹菌を配合

消化酵素の薬品及びサプリメントには、植物由来と動物由来の2種類があり、それぞれ働く環境下が異なる。

X-酵素は、pH2.2からpH11までといった広い範囲で活性化状態を保つ。
→消化管全体と血流全体で活性することを意味する。

③天然原料のみを使用

原料とする植物素材と麹菌の生産に使われる副素材に至るまで、すべて天然原料のみを使用。
その残余までも健康に有害とならない成分によってできている。

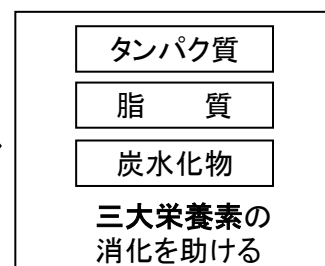
④酵素活性を考えたミネラルの配合

すべての酵素にはより良く機能するために必要な特定のミネラルがある。

酵素はそれぞれに適切なミネラルと組み合わせられたとき、酵素だけで分解するより効率よく栄養を利用することができる。

⑤消化に関するすべての酵素を持つ。

プロテアーゼ	タンパク質を分解する
マルターゼ	麦芽糖を分解する
アミラーゼ	炭水化物を分解する
ラクターゼ	乳糖を分解する
セルラーゼ	セルロースを分解する
リパーゼ	脂肪を分解する
スクラーゼ	ショ糖を分解する



期待される効果

- ・活力(生命力)の増加
- ・組織内の解毒、排泄促進
- ・抗加齢
- ・免疫システムの強化
- ・ダイエット
- ・炎症の改善
- ・ビタミンミネラルの吸収促進 など

■ X-酵素の取り方

摂り方①

食事をする3分前に2カプセル。
油っこい食事やガッツリ食べたい時は3カプセル。
消化・吸収する胃や腸の負担が減ります！

摂り方②

空腹時に2カプセル。
食べ物の消化に使われないまま酵素が血液中に入って、血液中のタンパク質を分解。
アレルギー予防には1日2回2カプセルがお勧め。
朝レモン水と一緒に飲めば、毒だし効果大！

